

令和7年度プロジェクト取り組み状況

令和8年1月末 現在

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

資料番号	区分	対策内容	実施主体	前回(R6)進捗率	今回(R7)進捗率	完了予定	備考
①	荒川水系緊急治水対策プロジェクト	春木山大沢川河道拡幅 国道7号橋架替え	新潟県 村上地域整備部	45%	49%	R7年度以降	河道拡幅工事、市道橋架替工事、国道7号迂回路設置工事中
②		災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)	新潟県 村上地域整備部	40%	70%	R7年度以降	災害復旧工事、河道拡幅工事、国道113号迂回路設置工事中
③		雨水幹線の整備	村上市	-	-	R7年度以降	烏川1-3号幹線 進捗率 54.8% 354.8m/647.8m 烏川1-2号幹線 進捗率 1.0% 3.5m/355m
④		「田んぼダム」の取り組み推進	村上市 荒川沿岸土地改良区	117%	126%	-	R7実施568.0ha/見込451.9ha
⑤	荒川水系流域治水対策プロジェクト	災害復旧(河川)	国交省 羽越河川国道事務所	66%	100%	完了	整備状況(完了/全体): 3箇所/3箇所
⑥			新潟県 村上地域整備部	95%	100%	完了	整備状況(完了/全体): 44箇所/44箇所
⑦			関川村	100%	100%	R6年度	整備状況(完了/全体): 775m/775m
⑧			山形県	100%	100%	完了	整備状況(全体): 27箇所
⑨			山形県小国町	100%	100%	完了	整備状況(全体): 1箇所
⑩		災害復旧(砂防)	新潟県 村上地域整備部	64%	71%	R7年度以降	整備状況(完了/全体): 10箇所/14箇所
⑪		復旧治山	下越森林管理署 村上支署	-	-	R7年度以降	整備状況(完了/全体): 7箇所/7箇所(溪間工2、山腹工5) R7予算配置、R8整備予定: 3箇所(溪間工2、山腹工1)
⑫			新潟県 村上農林振興部	100%	100%	完了	整備状況(完了/全体): 5箇所/5箇所
⑬	高田地区治水対策	災害復旧(太田沢川)	新潟県 村上地域整備部	100%	100%	完了	整備状況(全体): L=670m
⑭		河道掘削等(前川)	新潟県 村上地域整備部	100%	100%	完了	整備状況(全体): V=360m3
⑭-2	乙地区治水対策	河川改修(乙大日川)	新潟県 新発田地域整備部	-	66%	R7年度以降	河道掘削工事、築堤工事中
⑮	高田地区治水対策	河道掘削等(荒川)	国交省 羽越河川国道事務所	-	64%	R7年度以降	整備状況(完了/全体): 76千m3/119千m3
⑯		高田排水樋管改良等	国交省 羽越河川国道事務所	-	100%	完了	R6.3月完了
⑰		河川改修(滝矢川)	村上市	60%	60%	R7年度以降	整備状況(完了/全体): L=265.9m/445.2m R7年度工事完了予定
⑱		河川改修(赤坂川)	村上市	-	-	R7年度以降	河川改修に向け予備設計業務委託中
⑲		河道掘削等(荒川)	山形県	100%	100%	完了	河道の堆積状況に応じて継続して適宜実施
⑳		砂防設備の除石、流木撤去	国交省 飯豊山系砂防事務所	100%	100%	完了	整備状況(全体): 7箇所
㉑			新潟県 村上地域整備部	100%	100%	完了	整備状況(完了/全体): V=59,000m3/59,000m3
㉑-2		特定都市河川指定による流域治水の推進	新潟県 村上地域整備部	-	-	-	「特定都市河川流域」に指定 R7.3 「流域水害対策協議会」等を開催

※ 令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

資料番号	対策内容	実施主体
㉒	多段階な浸水リスク情報の充実	国交省 羽越河川国道事務所

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

資料番号	対策内容	実施主体
㉓	危機管理型水位計の設置	新潟県 村上地域整備部
㉔	気象情報の充実、予報精度の向上	新潟県地方気象台 山形県地方気象台
㉕	防災気象情報の普及啓発	新潟県地方気象台
㉖		山形県地方気象台
㉗	防災アプリの開発・ 防災無線更新工事の着手	村上市
㉘	防災行政無線システム再整備工事・ハザードマップ更新	胎内市
㉙	災害の被害軽減対策(地域の災害リスク・避難行動等の周知)	胎内市
㉚	総合防災訓練の実施	村上市
㉛		関川村
㉜		山形県小国町
㉝		胎内市
㉞	災害の被害軽減対策(個別避難計画の作成)	胎内市
㉟	流域治水フォーラムの開催	新潟県
㊱	中小河川における浸水想定区域図作成	山形県
㊲	河川監視カメラの設置	山形県
㊳	トイレカーの導入	村上市
㊴	災害の記憶と教訓の伝承	村上市

(黄色表示は、進捗があったプロジェクトを示す。)

荒川水系緊急治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①
対策内容	春木山大沢川 河道拡幅・国道7号橋架替え	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

【取り組み状況】

令和7年度

- ・護岸工事、市道橋の架替え工事を実施
- ・国道7号橋架替えのための迂回路・仮橋設置工事を実施、架替え工事に着手

令和8年度予定

- ・護岸工事、市道橋の架替え工事を継続
- ・国道7号橋の架替え工事を完了

国道7号 橋梁工事
実施状況(令和7年10月撮影)



藤沢学校町線 橋梁工事
実施状況(令和7年11月撮影)



荒川水系緊急治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	②
対策内容	春木山大沢川 災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備 等)	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

【取り組み状況】

令和7年度

- ・護岸拡幅工事、市道橋の架替え工事を実施
- ・国道113号の橋架替え工事を実施

令和8年度予定

- ・護岸拡幅工事、市道橋の架替え工事を継続
- ・国道113号橋の架替え工事を継続
- ・二線堤・輪中堤工事に着手



市道橋架替え工事 着手前



2 - 4



市道橋架替え工事実施状況(令和7年12月撮影)

荒川水系緊急治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③
対策内容	雨水幹線の整備	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

令和6年度(繰越)(令和7年度完了予定)

- ・烏川1-2号雨水幹線 樋門整備工事 N=1基 幹線函渠布設工事L=3.5m

令和7年度(実施中)

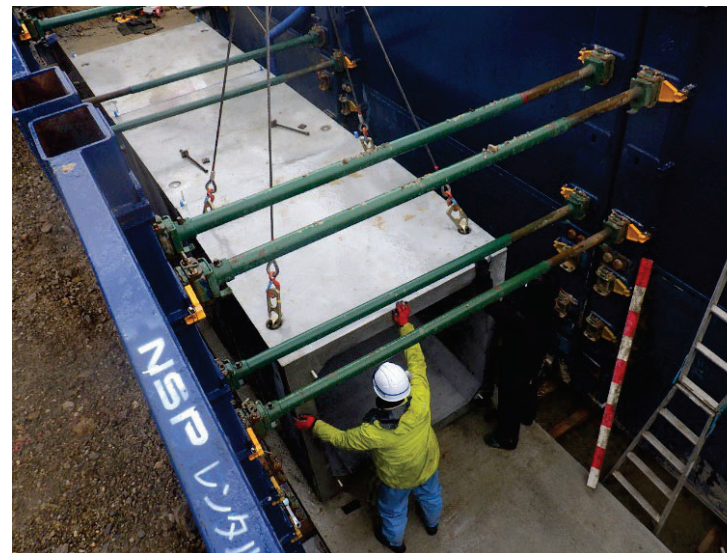
- ・烏川1-2号雨水幹線 函渠布設工事 L=249m
- ・烏川1-3号雨水幹線 函渠布設工事 L=48m

令和8年度以降予定

- ・烏川1-2号雨水幹線 函渠布設工事 L=102.5m
- ・烏川1-3号雨水幹線 函渠布設工事 L=293m



烏川1-2 樋門整備状況



烏川1-3 函渠布設状況

荒川水系緊急治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	④
対策内容	「田んぼダム」の取り組み推進	
実施主体	新潟県、村上市、荒川沿岸土地改良区	

【取り組み状況】

令和7年度

・取組面積 568.0ha(9組織)



田んぼダム：のぼり旗設置状況



田んぼダム：排水調整板(落ち蓋)設置状況

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

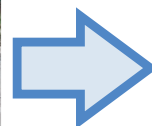
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑤
対策内容	災害復旧(河川)	
実施主体	国交省羽越河川国道事務所	

【取り組み状況】

(令和5年度～) 3箇所(村上市鳥屋、荒川縁新田、葛籠山地先)の災害復旧工事を開始
 (令和6年度) 村上市鳥屋地先(完成)、村上市荒川縁新田地先(完成)、
 村上市葛籠山地先(R7年3月完成)。



R4.8出水後の被災状況(河岸侵食)



河川低水護岸工事完成(R7.3)

村上市葛籠山地先のR4.8出水による河岸侵食状況と低水護岸設置状況

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑥
対策内容	災害復旧(河川)	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

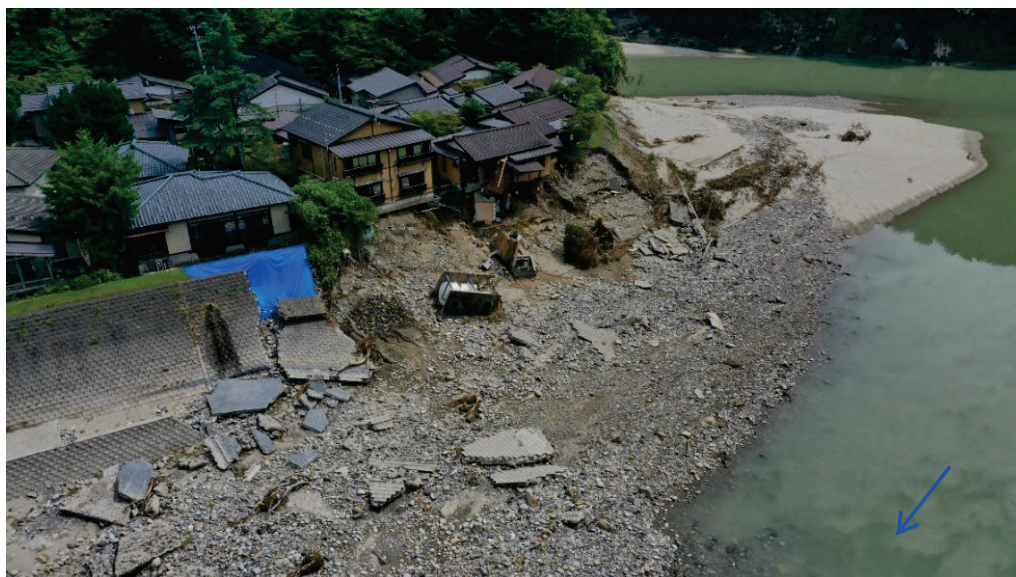
【取り組み状況】

令和6年度まで

- ・令和4年河川災は全44箇所中 全44箇所を発注済み
- ・令和6年度までに42箇所(95%)について現場完了済み

令和7年度実績

- ・全44箇所の災害復旧工事を完了した(100%)



R4災 荒川水系荒川 関川村湯沢地内 着手前



災害復旧工事完了状況(R7.7)

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑦
対策内容	下山川 災害復旧	
実施主体	関川村	

【取り組み状況】

(令和5年度) 河川埋塞土砂の撤去工事完了。

(令和6年度) 河川護岸及び河床の復旧工事完了。



R4. 8出水後の被災状況(河川護岸及び河床被災)



河川災害復旧工事 完了(R6. 11)

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

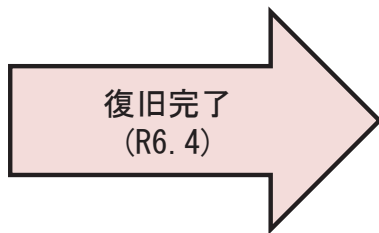
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑧
対策内容	災害復旧(河川)	
実施主体	山形県	

【取り組み状況】(令和4年河川災)

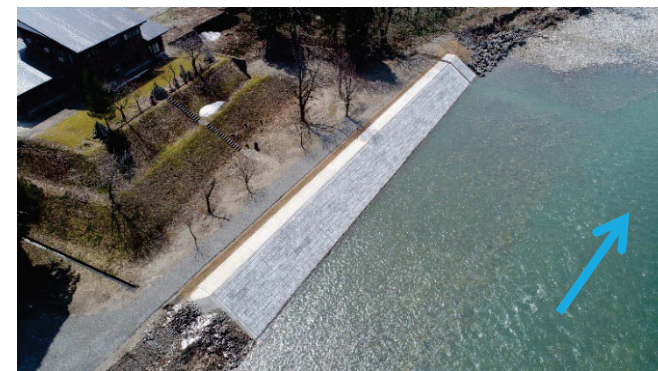
- ・令和5年度までに全27箇所中 27箇所を発注済み。
- ・令和5年度中に全27箇所中 26箇所が完了。
- ・令和6年4月に残り1箇所が完了し、全箇所完了。



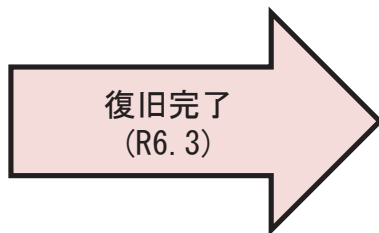
荒川
(小国町舟渡地内)



復旧完了
(R6.4)



足水川
(小国町市野沢地内)



復旧完了
(R6.3)



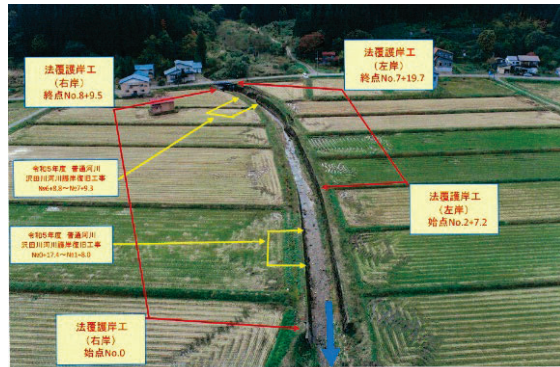
令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑨
対策内容	災害復旧(河川)	
実施主体	山形県小国町	

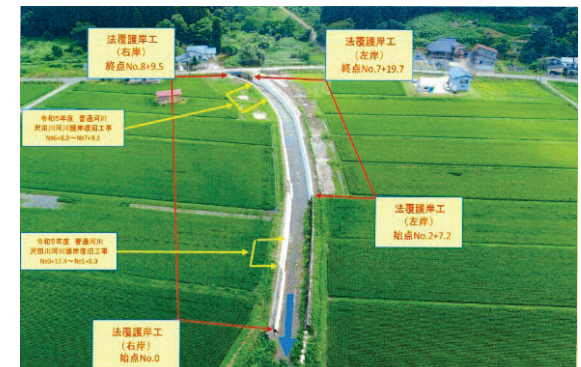
【取り組み状況】

- 令和5年度 ・沢田川災害復旧工事(小国町大字種沢地内 着工:R5.1.23 完成:R5.7.28 事業費:84,832,000円)
- ・復旧延長L=172m 掘削工V=290m³ 盛土工V=360m³ コンクリートブロック積工A=914m³ 根継工V=22m³ 植生工A=120m³ ほか
 - ・復旧完了

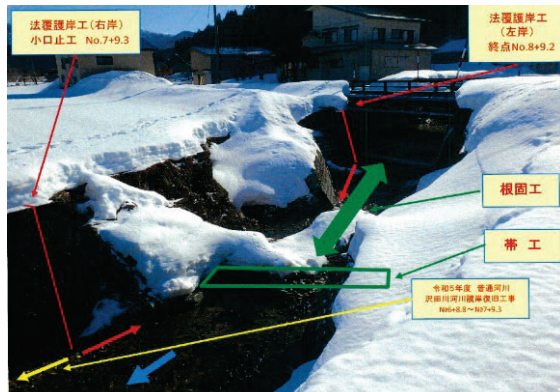
被災箇所位置図



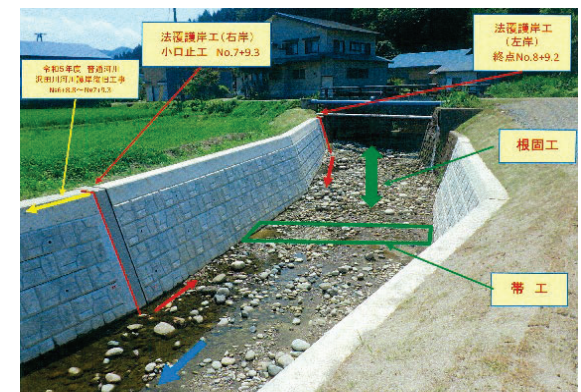
着手前(被災後)
①全体を望む



完成
①全体を望む



着手前



完成

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑩
対策内容	災害復旧(砂防)	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

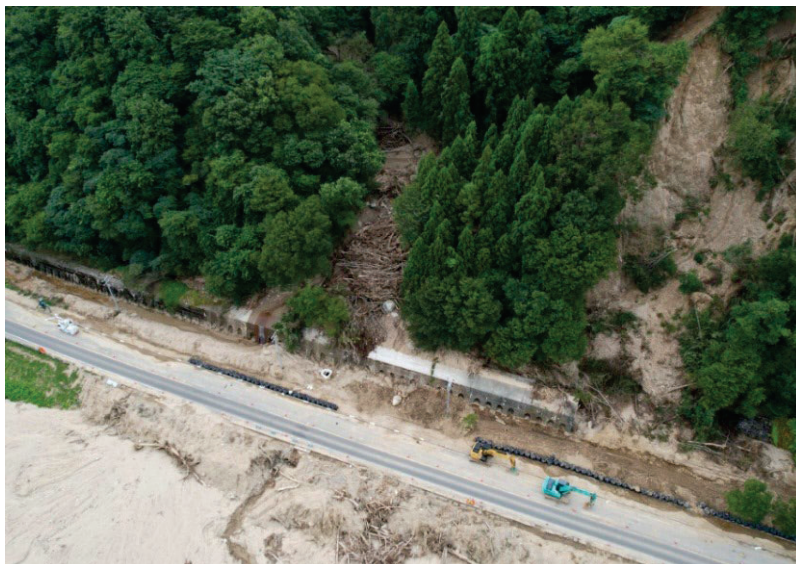
【取り組み状況】

令和7年度まで

- ・災害復旧工事 流路工復旧工事 4箇所(完了 4箇所)
- ・災害関連緊急砂防事業(令和7年度から通常砂防事業等により実施)
砂防堰堤 5基(完了 1基、施工中 4基)

令和8年度以降予定

- ・令和9年度完了予定



荒川水系 念仏沢川(砂防河川)被災状況



念仏沢川砂防堰堤竣工(R7.11)

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑪
対策内容	復旧治山	
実施主体	下越森林管理署村上支署	

【取り組み状況】

(令和6年度) 復旧工事として溪間工2箇所、山腹工2箇所を実施(令和7年1月完成)

(令和7年度) 復旧工事として溪間工2箇所、山腹工5箇所を実施(令和7年12完成)

(令和8年度) 復旧工事として溪間工2箇所、山腹工1箇所を実施予定(令和9年2月完成予定)

※R8予定は、R7予算配置(補正・ゼロ国)されたもの。



着手前



完成

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑫
対策内容	災害復旧(治山) [令和4年8月豪雨対応]	
実施主体	新潟県(村上農林振興部)	

【取り組み状況】

令和5年度 5箇所での災害復旧工事(※)を開始

令和6年度 全箇所での災害復旧工事完了

※災害関連緊急治山工事

村上市小岩内地区 1箇所、村上市貝附地区 2箇所、村上市川部地区 1箇所
関川村土沢地区 1箇所



着手前



完成

村上市貝附(山腹斜面の再崩壊を防止する法枠工を施工)

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高田地区治水対策	⑬
対策内容	災害復旧(太田沢川)		
実施主体	新潟県(村上地域整備部)		

【取り組み状況】

令和6年度完了

- ・被災箇所の災害復旧工事を実施、復旧延長670mの全区間で工事完了



災害復旧工事 着手前



災害復旧工事 完了後

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高田地区治水対策	⑭
対策内容	河道掘削等(前川)		
実施主体	新潟県(村上地域整備部)		

【取り組み状況】

令和5年度

- ・人家連担部付近における河道掘削を実施(L=550m、V=360m³)



河床掘削工事 着手前



河床掘削工事 完了後

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	乙地区治水対策	⑭-2
対策内容	河川改修(乙大日川)		
実施主体	新潟県(新発田地域整備部)		

【取り組み状況】

令和7年度

- ・河道掘削と築堤を実施(L=270m、掘削工V=3,200m³、盛土工V=1,600m³)



河川改修工事 (令和7年6月撮影)



河川改修工事 施工状況(令和7年11月撮影)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高田地区治水対策	⑮
対策内容	河道掘削等(荒川)		
実施主体	国土交通省羽越河川国道事務所		

【取り組み状況】
(令和5年度～)

荒川貝附地区の河道掘削工事に着手。
河道掘削土砂は、近隣自治体の公共事業で有効利用。
なお、関川村高田地区において掘削土砂を活用し、高台（レジリエンスベース）を造成。災害発生時は緊急復旧活動等で利用しつつ、地域の災害対応も支援できるよう整備予定。
引き続き、令和8年度以降も河道掘削を継続。



貝附地区(R7. 11撮影)
赤点線枠の箇所を掘削します。



貝附地区(R8. 2撮影)
農水省・県・自治体・水利利用者・河川利用者の協力を得ながら荒川頭首工のゲートを開け、貯水池の水を抜いた状態で、河床掘削を行っております。

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高田地区治水対策	⑬
対策内容	高田排水樋管改良等		
実施主体	国交省羽越河川国道事務所		

【取り組み状況】 〔令和5年度完成済〕
 急な河川水位上昇に備え樋管ゲート開閉の自動化（フラップゲート追加設置）。
 災害対策車両（排水ポンプ車、重機等）の通行確保のためスペースを確保。



フラップゲート設置状況(令和6年3月完成)

← 万が一に樋管操作員がゲート操作できない状況下で荒川の水位が急上昇しても、自動でゲートが閉じて逆流を防止します。



高田橋橋詰め 回転場の整備

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑰
対策内容	河川改修(滝矢川)	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

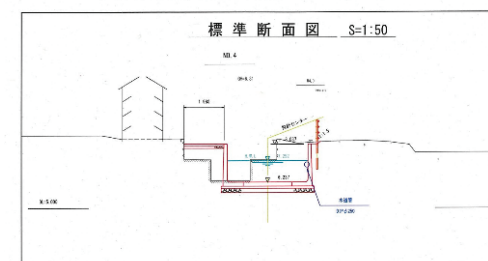
令和6年度

- ・河川改修 L=119.1mを実施

令和7年度予定

- ・河川改修 L=60.2mを実施し、事業完了予定

普通河川滝矢川改修工事



着手前



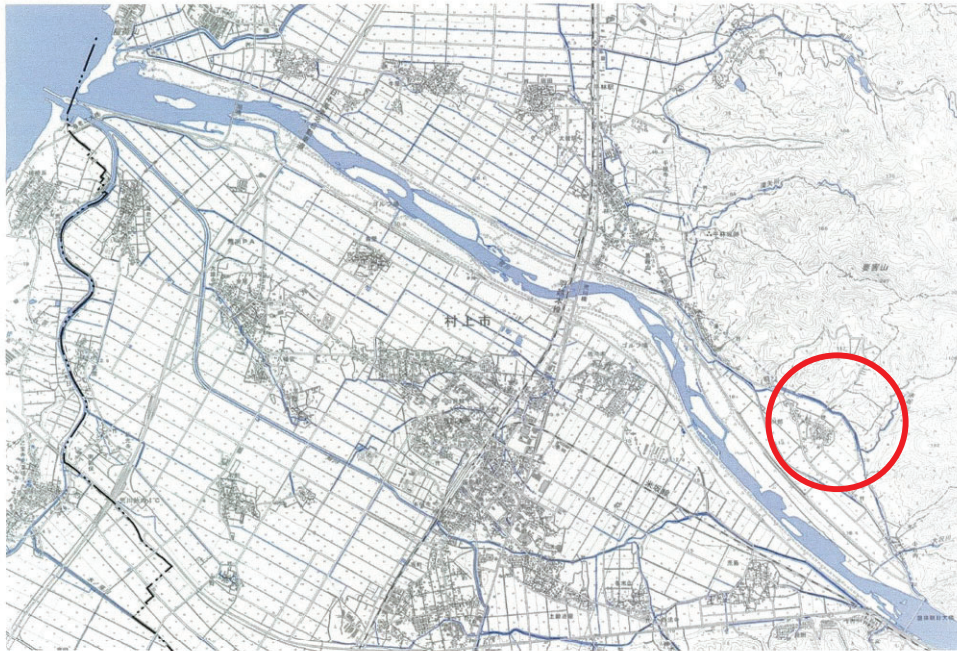
竣工

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

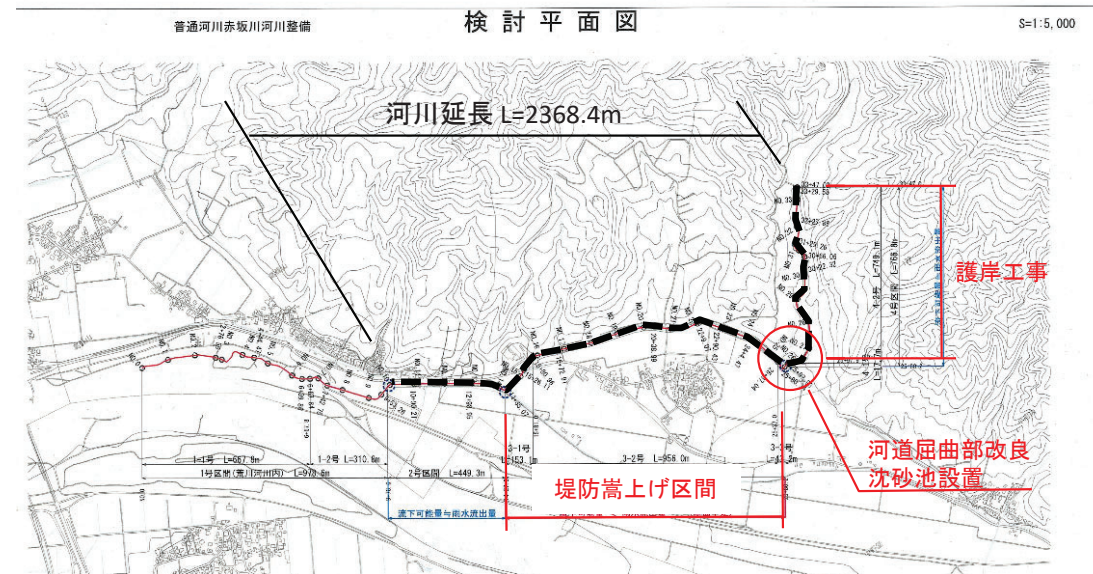
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑱
対策内容	河川改修(赤坂川)	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

- 令和5年度 ・河川改修計画策定
- 令和6年度 ・予備設計を実施
- 令和7年度 ・詳細設計及び用地買収を予定
- 令和8年度～ ・河川改修工事に着手予定



位置図



平面図

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑬
対策内容	河道掘削等	
実施主体	山形県	

【取り組み状況】

(令和5年度)・荒川及び横川において河道掘削等を実施

(令和6年度)・荒川及び石滝川等において河道掘削等を実施

(令和7年度)・荒川及び田沢川において河道掘削等を実施

出水等により土砂堆積が進行した河川において適宜対応。

荒川上流域の洪水時の水位低下や流下能力の向上を図る。

【令和6年度】



荒川(小国町長沢)
河道掘削状況



石滝川(小国町石滝)
河道掘削状況

【令和7年度】



田沢川(小国町田沢頭)
河道掘削状況

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑳
対策内容	砂防設備の除石、流木撤去	
実施主体	国交省飯豊山系砂防事務所	

【取り組み状況】

[令和5年度完成済み]

- ・既設砂防堰堤7基において、異常堆積土砂、流木の撤去を完了
- ・次期出水に備え、流木対策施設の設置を実施中
- ・流域流木対策について、砂防・治山で相互の調査・検討内容の情報共有や意見交換を実施し、計画策定に向け検討中



枯松沢砂防堰堤(小国町) 流木対策工施工完了



穴淵砂防堰堤(小国町) 流木対策工施工完了

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑳
対策内容	砂防設備の除石、流木撤去	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

【取り組み状況】

令和6年度まで

- ・流路・砂防堰堤にかかる流木撤去工事完了(R4災)
- ・流路にかかる除石工事完了(R4災)
- ・砂防堰堤にかかる除石工事 59,000m³(100%)完了(災関砂防・県単事業)

令和6年度完了



荒川水系 小岩内大沢川(砂防河川) 村上市小岩内 着手前



流木撤去・除石完了
手前は災害関連緊急砂防事業堰堤嵩上げ(工事中R6.11)

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水対策プロジェクト

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	⑳-2
対策内容	特定都市河川指定による流域治水の推進(流域水害対策計画の策定と浸水被害対策の推進)	
実施主体	新潟県	

【取り組み状況】

- ・令和6年度 烏川ほか3支川及び前川、太田沢川とその流域を「特定都市河川」及び「特定都市河川流域」に指定(令和7年3月28日)
- ・令和7年度 各流域において「流域水害対策協議会」を開催
- ・令和8年度予定 流域水害対策計画の策定に向け、協議会等を開催予定

烏川流域のJR坂町駅周辺や前川が流れる関川村高田地区では、令和4年8月3日からの大雨により、大規模な浸水被害が発生。

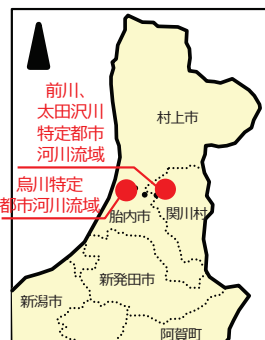
国、県、関係市村をはじめとするあらゆる関係者と協働した「流域治水」の取組を加速化するため、令和7年3月に各河川とその流域を「特定都市河川」及び「特定都市河川流域」に指定。

令和7年9月に、特定都市河川流域の関係者が一堂に会する「第1回烏川流域水害対策協議会」、「第1回前川・太田沢川流域水害対策協議会」を開催。

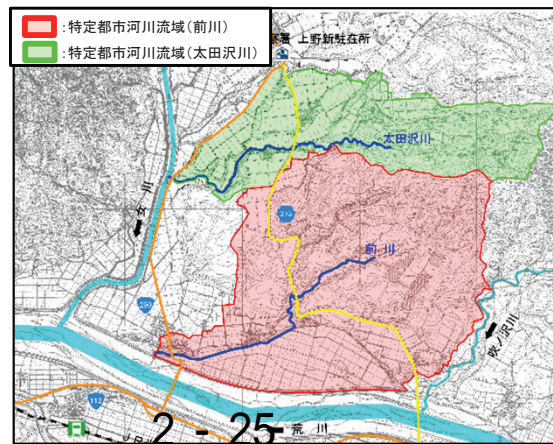
今後、協議会において、各流域におけるハード・ソフトを組み合わせた効果的な対策を流域水害対策計画としてまとめ、浸水被害の防止・軽減を目指す。



第1回 烏川流域水害対策協議会
開催状況(R7.9.4)



烏川特定都市河川流域位置図



前川・太田沢川特定都市河川流域位置図

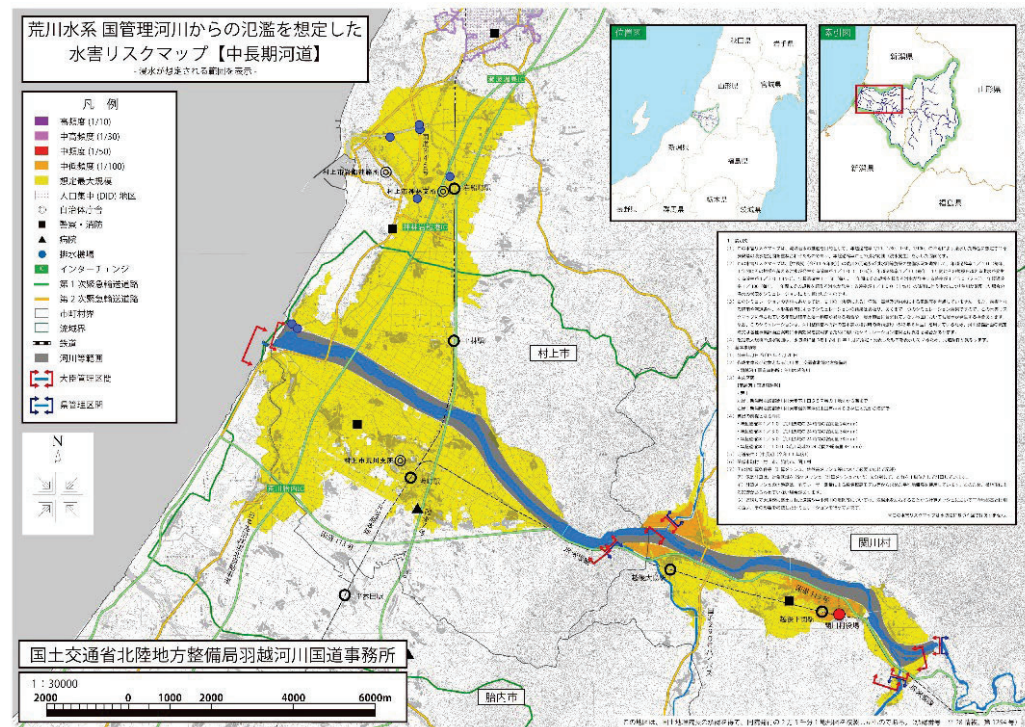


第1回 前川・太田沢川流域水害対策協議会
開催状況(R7.9.4)

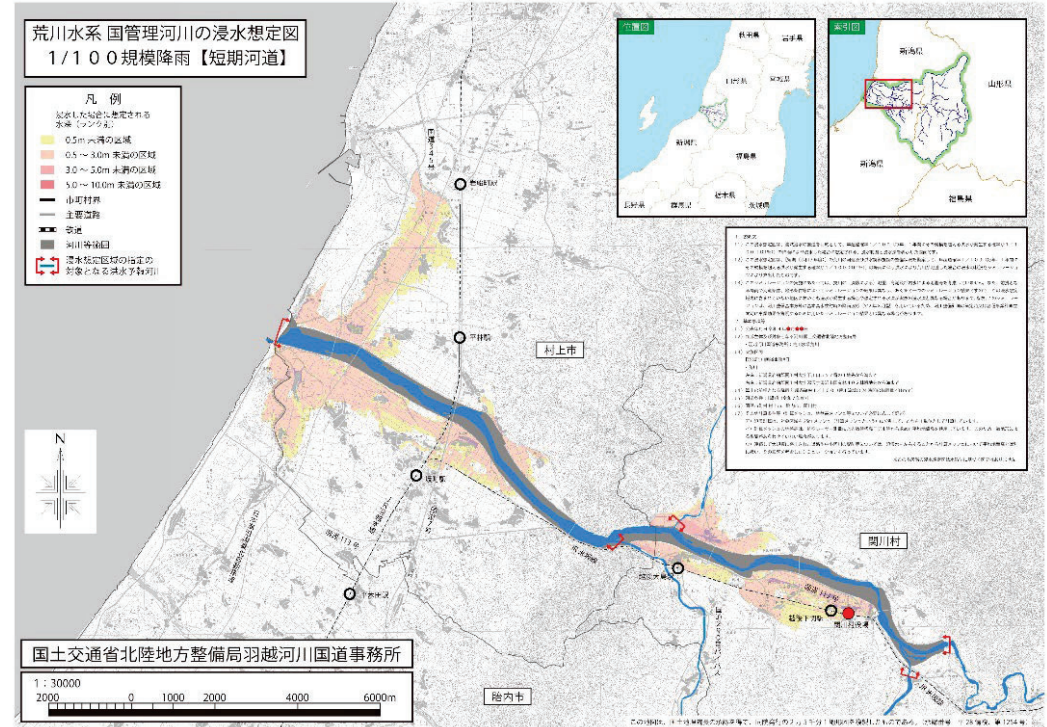
区分	被害対象を減少させるための対策	②②
対策内容	多段階な浸水リスク情報の充実	
実施主体	国交省羽越河川国道事務所	

【取り組み状況】
 (令和5年度) 荒川の短期・中長期河道における「水害リスクマップ」「多段階浸水想定図」を公表。
 (令和6年度～) HPで公開するとともに、防災関係イベント等を通じて広く啓発を継続。

羽越河川国道事務所 HPより



水害リスクマップ
 (中長期河道 浸水0m以上の事例)



多段階浸水想定図
 (短期河道 1/100規模降雨の事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	②3
対策内容	危機管理型水位計の設置	
実施主体	新潟県(村上地域整備部)	

【取り組み状況】

令和7年度まで

- ・烏川(坂町)、春木山大沢川(下鍛冶屋)、太田沢川(高田)の3箇所にて危機管理型水位計を設置済
- ・前川(高田小橋)にR7年2月に設置を完了

令和8年度

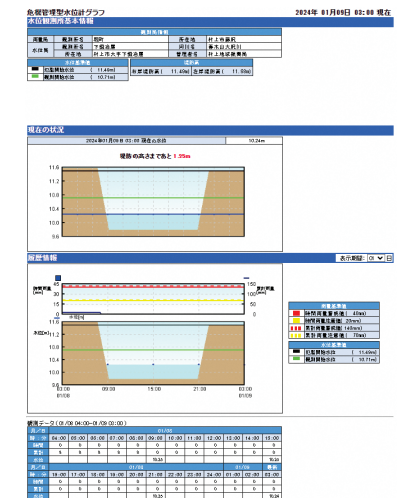
危機管理型水位計の設置箇所検討を継続



危機管理型水位計 前川(高田小橋)



危機管理型水位計設置イメージ



ホームページでの公開イメージ

令和5年8月より設置した危機管理型水位計の水位情報をホームページにて公開

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑭
対策内容	気象情報の充実、予測精度の向上（線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み強化）	
実施主体	新潟地方気象台、山形地方気象台	

令和7年11月14日時点

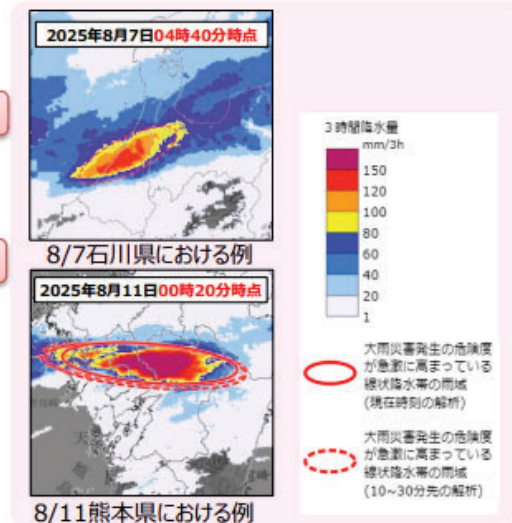
令和7年の実績 ～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～



- 気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使ってその旨を呼びかけている。
- 線状降水帯の正確な予測は困難だが、予測技術の開発を進め、令和6年5月から府県単位での呼びかけを実施している。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したとき、実際に大雨となる可能性が高いことから、**この呼びかけが行われたときには、ハザードマップや避難所・避難経路を確認するとともに、今後発表される防災気象情報や自治体からの避難情報に留意するなど、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。
- 令和7年11月14日時点における線状降水帯の事例数は、11事例※¹（地方予報区単位）

※1 線状降水帯の事例の数は、線状降水帯の雨域は複数の県にまたがる場合もあるため、令和5年度以前と同様に地方予報区（全国を11ブロックに分けた地域）単位としている。

府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから検証)	令和7年 (11月14日時点)
線状降水帯発生呼びかけ「あり」のうち 線状降水帯の発生「あり」※ ²	25%程度 (4回に1回程度)	適中率（高いほうが良い） 約14% (88回中12回)
線状降水帯の発生「あり」※ ² のうち 線状降水帯発生呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率（高いほうが良い） 約71% (17回中12回)
【参考】線状降水帯呼びかけ「あり」※ ² のうち 3時間降水量が100mm以上の大雨		約60% (88回中53回)



※2 線状降水帯の事例数と、府県単位での線状降水帯の発生「あり」の数は異なる場合がある。



線状降水帯の発生の有無に関わらず、この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要。 2 - 28

線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。（令和5年5月25日以降）

- ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）において警報基準を大きく超過した基準を超過



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑫
対策内容	防災気象情報の普及啓発	
実施主体	新潟地方気象台	

【取り組み状況】 地域防災の更なる強化を目的に、自治体・関係機関・報道機関、一般向けにイベントでのブース展示、出前講座、説明会を実施し、防災気象情報の普及啓発を実施する。
令和7年度取り組みは下表のとおり、令和8年度においても施策の実施を継続する。

取組事項	詳細内容 一部抜粋	
気象防災ワークショップの実施	市町村防災担当者を対象としたワークショップ(風水害編) 6月12日 ワークショップに先行した気象防災研修実施 7月23日 ワークショップ実施 いずれも新潟県と連携しての開催	 気象防災ワークショップ
防災イベントの参加	9月6日～7日 ぼうさいこくたい2025 in 新潟 令和4年8月大雨事例・防災気象情報改善のブース展示他	 ぼうさいこくたい2025
防災訓練への支援	10月19日 新潟県・出雲崎町総合防災訓練 令和7年8月大雨事例のブース展示他	
防災気象情報の説明会等	6月10日 市町村防災担当課長会議 線状降水帯に関する情報、防災気象情報の改善 6月12日 新潟県市町村職員防災基本研修	
天気見通しの提供 (気象解説資料)	県、市町村、報道機関、公的機関向けに週末版の天気見通しに加え、早期注意情報(警報級の可能性[中])以上で状況に応じて臨時版の天気見通し提供	

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	②6
対策内容	防災気象情報の普及啓発	
実施主体	山形地方気象台	

【取り組み状況】 地域防災の更なる向上を目的に、自治体・関係機関・一般向けに各種講座・出展・説明会を実施し、防災気象情報の普及啓発を行う
令和7年度の主な取り組み：下表のとおり
令和8年度の予定：令和7年度同様の施策を継続実施

取組内容	備考	
気象防災ワークショップ 開催(山形県との共催)	市町村防災担当者を対象としたワークショップ R7.6.5 最上・庄内管内 R7.6.12 村山・置賜管内	
出前講座	22件（大雨関連のみ抜粋） 山形県・市町村防災担当、防災関係機関、山形県議会特別委員会、山形大学、自主防災組織、水路管理者、防災士、建設会社等	ワークショップの様子
イベントへのブース出展	R7.9.7 山形県・酒田市合同総合防災訓練 R7.9.13 科学の祭典inやまがた(山形県主催) R7.9.14 かわとぴあ（山形河川国道事務所主催）	
防災気象情報等に関する連絡会	R7.5.21 気象に関する防災情報、新しい防災気象情報について 山形県・市町村防災担当者、報道機関	かわとぴあブース
天気見通しの提供	警報級の可能性「中」以上で天気の見通しをメールで提供 山形県・市町村防災担当者、報道機関、公的機関	

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	②7
対策内容	防災アプリの開発・防災無線設備更新工事～周知～	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

令和7年度 防災アプリ(むらかみ情報ナビ)の、配信内容の充実に取り組み登録者数の増に取り組んだ。(R7.4～R8.1増加数 1,956人増)

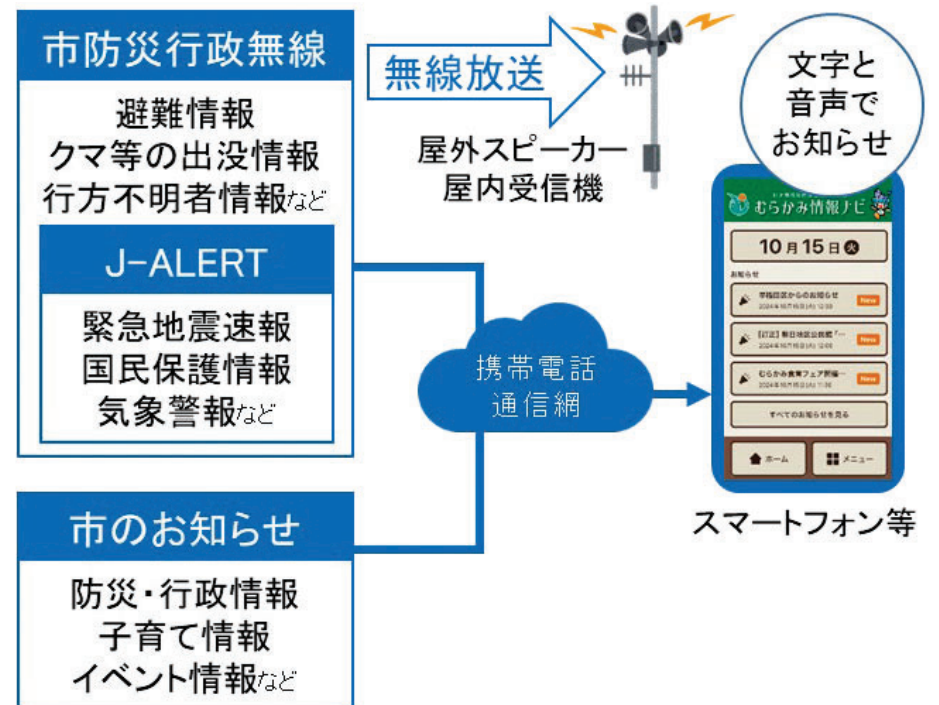
令和8年度予定 防災無線の維持管理、防災アプリ(むらかみ情報ナビ)の配信内容の充実、登録者数増のための周知に取り組む

【防災無声更新工事と防災アプリの導入】

災害時における情報伝達の機能強化等を図るため、防災無線更新工事を令和5年度から令和6年度までの2か年で実施した。

個人のスマートフォンやタブレット端末で使用できる防災アプリを導入し(右のイメージのとおり)登録者数の増加に取り組んだ。

また、防災無線、防災アプリ、防災メール、SNS(LINE、X、Facebook)にワンオペで一斉に配信できるシステムを構築し、防災情報の配信の多重化、迅速化を図った。



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑳
対策内容	防災行政無線システム再整備工事・ハザードマップ更新	
実施主体	胎内市	

【取り組み状況】

(令和7年度)

- ・令和5年度から令和7年度の3か年に渡る事業であった、防災行政無線システム再整備工事が12月に完成した。
- ・荒川水系9河川のほか、胎内川水系8河川・落堀川水系3河川・加治川水系3河川の計23河川に係る洪水浸水想定区域の指定に伴い、当市のハザードマップを更新作業中。3月完成予定。

【防災行政無線システム再整備工事の主な内容】

災害時の情報伝達手段である防災行政無線システムを、より迅速で確実な情報伝達が可能となるよう下記のとおり整備。

- ・機能強化を図るため最新の通信方式へ切替。
- ・引続き、戸別受信機を全戸配布。
- ・市内全域の生活圈域に音が届けられるよう、屋外拡声子局を増設。
- ・音域が広がり、放送内容がより聴き取りやすくなる高性能スピーカへ切替。
- ・迅速な防災行政無線放送が可能となるよう遠隔操作機能を備える。
- ・情報伝達手段の一つとして、防災行政無線と連動した、防災アプリを令和6年3月に新規導入。
- ・難聴者への対策として、希望者へ防災情報が文字で伝達される防災タブレットを配布。

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	②9
対策内容	災害の被害軽減対策(地域の災害リスク・避難行動等の周知)	
実施主体	胎内市	

【取り組み状況】

(令和7年度) 令和7年度に気象と防災の専門知識を兼ね備えた気象防災アドバイザーを配置し、自主防災組織、高齢者、小・中学校、高校、福祉施設関係者などへ防災講話等を通じ、地域の災害リスクや避難行動など防災意識の向上、気象や地震についての防災知識の向上を図った。令和8年度においても、継続してまいりたい。

園児、児童と地域の合同防災訓練で
水害と避難行動、気象についての防災講話



【2】 そら み くも
空に見える雲の
しょうたい なに
正体は何でしょう。
5年生がこたえましょう。

防災のお話

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③〇
対策内容	防災訓練の実施	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

○令和7年度 令和4年8月3日からの大雨と同規模の浸水や、土砂災害の発生を想定した総合防災訓練を開催。この訓練では、災害対策本部設置訓練、住民避難訓練、情報収集・伝達訓練、リエゾン派遣受入れ等を行い、的確な初動行動がとれるよう実施した。また、第2部では協定締結事業者の協力により、防災VR/AR体験会およびペット同行避難セミナーを実施した。

○令和8年度予定 令和8年度も引き続き関係機関と連携しながら、災害時に備えた防災訓練を実施し、地域住民の防災意識を高め、災害対応能力の向上に取り組む予定。



《災害対策本部設置訓練》



《住民避難訓練》



《情報収集・伝達訓練》

車載カメラの映像を本部へ配信



《Safie 車載カメラ》



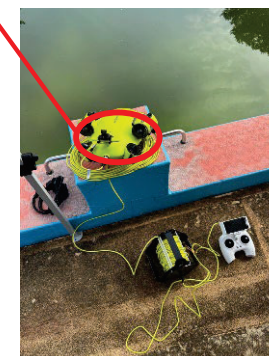
《ペット同行避難セミナー松本講師》



《ペット同行避難セミナー》



2 - 34 《防災VR/AR体験会》



《水中ドローンによる
情報収集》

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための	③1
対策内容	総合防災訓練の実施	
実施主体	関川村	

【取り組み状況】

※令和8年度以降も同様に毎年実施予定。

令和7年度 10月19日(日)

以下を主眼に浸水害・土砂災害を想定とする全村一斉の住民避難訓練、講演会、イベント研修に取り組んだ。

- ①防災関係機関との連携強化
- ②住民等の防災意識の高揚
- ③災害初動時における村の防災対応の練成

①村上市消防本部による救命講習



①②自主防による避難所開設運営



③避難所開設訓練(村民会館受付)



①自衛隊装備品展示(金丸ふれあい自然の家)



②防災講演会(九ヶ谷地区ふるさと会館)



③炊き出し訓練(村民会館調理室)



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③②
対策内容	総合防災訓練の実施、マイタイムラインの普及促進	
実施主体	山形県小国町	

【取り組み状況】

令和7年度

令和7年10月5日(日)、小国町役場付近を会場として、大規模災害発生時における初動体制や自主防災体制及び広域応援体制等の連携等にかかる総合的な訓練を実施。関係機関の協力体制の相互理解や、地域住民の意識高揚が図られた。

地区住民約55名、関係者約90名が参加。

令和8年度予定

積雪寒冷下における災害を想定した訓練を実施予定。開催地区や実施内容を精査中。



土石流模型実験装置を用いた啓発



消防団による土のう作成・設置訓練

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③③
対策内容	災害の被害軽減対策(防災訓練の実施)	
実施主体	胎内市	

【取り組み状況】

(令和7年度)

令和7年9月28日に市内全地域を対象とした総合防災訓練を実施。訓練は、市民体験型とした避難所開設、土のう作り・土のう積み、地震体験、初期消火などの訓練に加え、災害ボランティア受入れ訓練、心肺蘇生法・AED講習のほか、災害VR体験、関係機関による救助・救出訓練や炊き出し訓練など、市と関係機関との連携を図り実施した。参加約450人。

(令和8年度予定)

令和8年度も引き続き防災訓練を実施(9月頃)予定。関係機関と連携しながら、災害時に備えた市民の防災に対する知識の向上と、意識の高揚を図っていく。



避難所開設訓練



土のう作り訓練



救助・救出訓練



災害ボランティア受入れ訓練



土砂災害学習



災害車両展示



災害VR体験

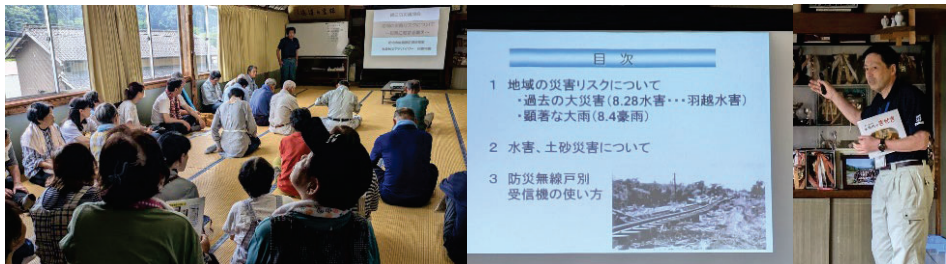
区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③④
対策内容	災害の被害軽減対策(個別避難計画の作成)	
実施主体	胎内市	

【取り組み状況】

(令和4年度～継続)

令和4年度に国のモデル事業に参加し作成開始。自主防災組織や福祉関連施設、社協などと連携しながら取組み中。避難行動要支援者の被害軽減等の対策として、概ね令和9年度までに全地区の完成を目指している。

令和7年度は、水害や土砂災害のリスクが高い地域へ再度、重要性と作成方法等について説明。



【市、地域、福祉関係者との調整会議】



要件	避難行動要支援者範囲
居住実態、社会的孤立	① 75歳以上のみの者で構成される世帯
	② 75歳以上の高齢者と児童のみの世帯に属する者
	③ 75歳以上の高齢者と障害者のみの世帯に属する者
身体障害者	④ 身体障害者手帳の交付を受け等級1、2級の者
精神障害者	⑤ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受け等級1級の者
知的障害者	⑥ 療育手帳の交付を受け、障害程度Aの者
要介護認定者	⑦ 介護保険の要支援1から要介護5の認定者
難病患者	⑧ 特定疾患医療受給者証を受けている難病認定者
その他	⑨ 乳幼児・妊産婦で本人若しくは保護者から支援が必要であると申請があった者
	⑩ 小学生以下の児童で保護者から支援が必要であると申請があった者
	⑪ 外国人で、本人から支援が必要であると申請があった者
	⑫ 上記対象に該当しない75歳未満の方でも、本人から支援が必要であると申請があった者
	⑬ 市長が特に必要と認める者

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	35
対策内容	流域治水フォーラムの開催	
実施主体	新潟県	

【取り組み状況】

(令和7年度～継続)

流域治水フォーラムの開催に先立ち、春木山大沢川助成事業並びに復緊事業を中心とした流域治水に関するパネルや広報誌を作成し、展示・配布。小学校への出前講座・工事見学会を実施。

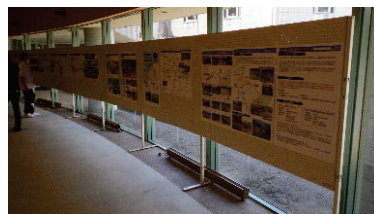
(令和9年度以降)

R4.8豪雨で被害を受けた地区を対象とした流域治水フォーラムの開催検討

パネル展示
(村上市防災パネル展)
令和7年7月15日～8月15日



パネル展示
(村上市避難支援セミナー)
令和7年8月3日



広報誌
(かわら版)
令和7年7月7日、令和7年12月10日発行



出前講座・工事見学会
(村上市保内小学校)
令和7年11月18日



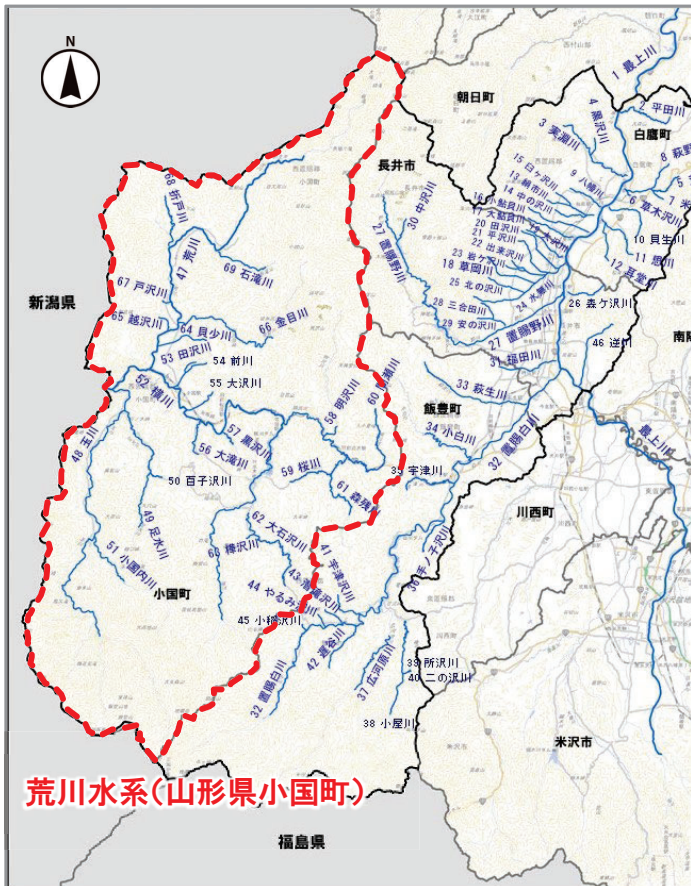
(注) : 流域治水フォーラムの目的

R4.8豪雨から数年が経過し、災害復旧や治水対策の検討が進んでいる。

当時の被害状況等を改めて振り返り、R4.8豪雨を契機に行われている春木山大沢川助成事業並びに復緊事業の工事内容説明、事業進捗等や関川村高田地区の流域治水対策の検討状況等を紹介し、流域治水の考え方の浸透や、自分事化を推進する。

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③6
対策内容	中小河川における浸水想定区域図作成	
実施主体	山形県	

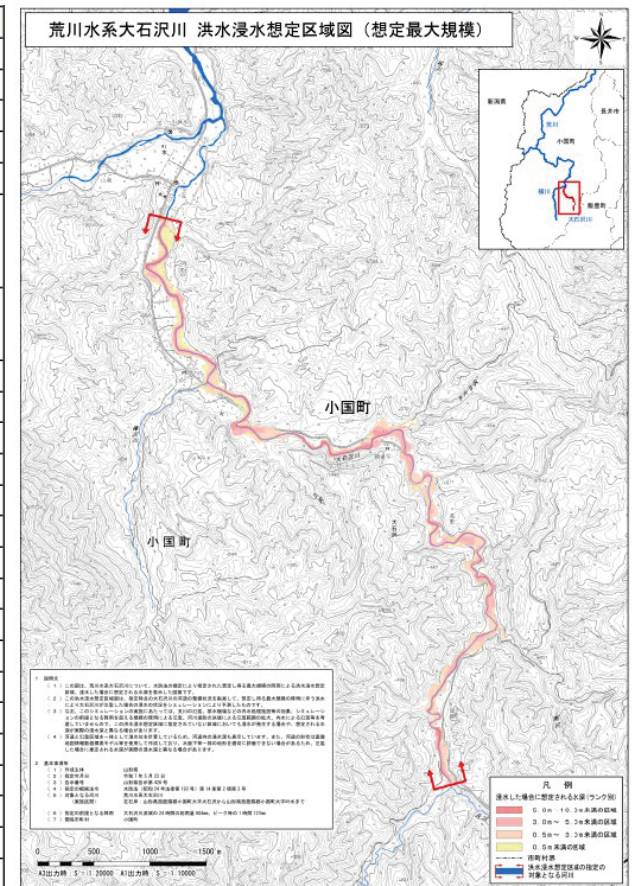
【取り組み状況】
 水位周知河川の荒川、横川以外の中小河川21河川の浸水想定区域図を作成し、令和7年5月23日に指定・公表



▲ 位置図

一級河川荒川水系				
47	荒川 (PDF: 4.037KB)	小国町	平成31年3月26日	水位周知対象区間
48	玉川 (PDF: 9.614KB)	小国町	令和7年5月23日	
49	足水川 (PDF: 3.626KB)	小国町	令和7年5月23日	
50	百子沢川 (PDF: 2.287KB)	小国町	令和7年5月23日	
51	小国内川 (PDF: 2.993KB)	小国町	令和7年5月23日	
52-1	横川 (PDF: 3.562KB) (小国町大字綱木箱口から荒川合流点)	小国町	平成31年3月26日	水位周知対象区間
52-2	横川 (PDF: 3.706KB) (52-1の上流区間)	小国町	令和7年5月23日	
53	田沢川 (PDF: 2.557KB)	小国町	令和7年5月23日	
54	前川 (PDF: 2.416KB)	小国町	令和7年5月23日	
55	大沢川 (PDF: 2.558KB)	小国町	令和7年5月23日	
56	大滝川 (PDF: 2.365KB)	小国町	令和7年5月23日	
57	黒沢川 (PDF: 2.260KB)	小国町	令和7年5月23日	
58	明沢川 (PDF: 2.750KB)	小国町	令和7年5月23日	
59	桜川 (PDF: 2.895KB)	小国町	令和7年5月23日	
60	間瀬川 (PDF: 3.215KB)	小国町	令和7年5月23日	
61	森残川 (PDF: 2.519KB)	小国町	令和7年5月23日	
62	大石沢川 (PDF: 3.104KB)	小国町	令和7年5月23日	
63	権沢川 (PDF: 2.279KB)	小国町	令和7年5月23日	
64	貝少川 (PDF: 2.697KB)	小国町	令和7年5月23日	
65	越沢川 (PDF: 2.211KB)	小国町	令和7年5月23日	
66	金目川 (PDF: 3.190KB)	小国町	令和7年5月23日	
67	戸沢川 (PDF: 2.227KB)	小国町	令和7年5月23日	
68	折戸川 (PDF: 2.655KB)	小国町	令和7年5月23日	
69	石滝川 (PDF: 2.619KB)	小国町	令和7年5月23日	

2 - 40
 ▲ 荒川水系河川一覧(山形県HP)



▲ 例: 荒川水系大石沢川(山形県HP)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③7
対策内容	河川監視カメラの設置	
実施主体	山形県	

【取り組み状況】

令和4年8月の大雨を踏まえ、住民の適切な避難行動等に資する情報提供のため、新たに荒川へ簡易型河川監視カメラを2基設置(令和5年1月運用開始)

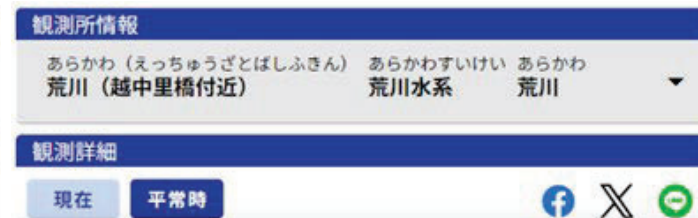


▲ 位置図

国土交通省「川の防災情報」にてカメラ画像を公開



▲ 荒川(沖庭橋付近)



▲ 荒川(越中里橋付近)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③⑧
対策内容	トイレカーの導入	
実施主体	村上市	

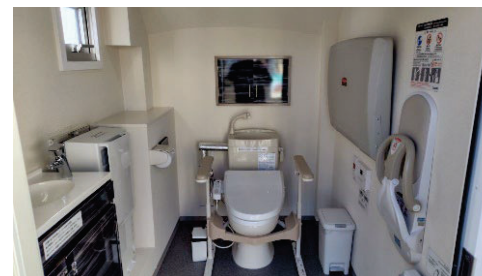
【取り組み状況】

○令和7年度 地域における災害時やイベント時におけるトイレ環境の改善を目的とし、災害直後から即使える機動力を備えた移動可能なトイレ設備を提供し、利用者の快適さと衛生環境を確保するため自走式トイレカーを2台配備

○令和8年度予定 より多くの方にご利用いただくため災害時の使用だけでなく、訓練、イベント等(民間団体への貸出)へも貸出予定。



《トイレカー1号車運転席側》
車体へは、絵本「小岩内のきせき」をラッピングし、令和4年8月3日からの大津波災害の記憶と教訓を風化させることなく後世の伝承に資するデザインとしました。



《トイレカー内の装備》

- ・大便器:オストメイト対応
- ・換気扇
- ・トイレ使用回数約100回
- ・冷暖房
- ・オムツ交換台
- ・ベビーチェア
- ・着替え台



《バリアフリースロープ》
「だれでも」トイレカーを使用できるよう、約5mのスロープを配備しバリアフリー化している。
車椅子での利用は、介助者が必要



《その他》

- ・利用:災害時、イベント時(市内団体等へも貸出予定)
- ・災害対応車両登録制度へ登録中

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	③9
対策内容	災害の記憶と教訓の伝承	
実施主体	村上市	

【取り組み状況】

○令和7年度 災害の記憶と教訓を風化させることなく後世に継承することを目的として制作した、絵本「小岩内のきせき」を等を教材とした防災出前講座を開催し、市民の防災意識の醸成を促した。防災出前講座開催数38回、参加人数1,300人(R8.1.20現在)

○令和8年度予定 災害時の避難方法や災害への備えについて、防災士や市職員が講師となり、地域の自主防災組織や自治・町内会などを対象に防災出前講座を実施する。



小岩内集落 × 新潟デザイン専門学校 × 村上市

《絵本「小岩内のきせき」》



《防災出前講座での絵本読み聞かせ》



《H.Pへの絵本掲載》

流域治水プロジェクト2.0

～流域治水の加速化・深化～

- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

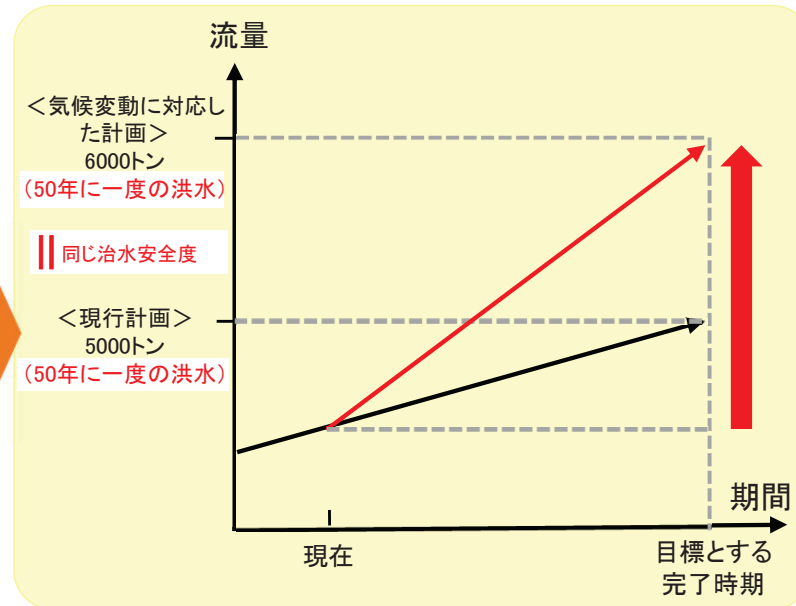
現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

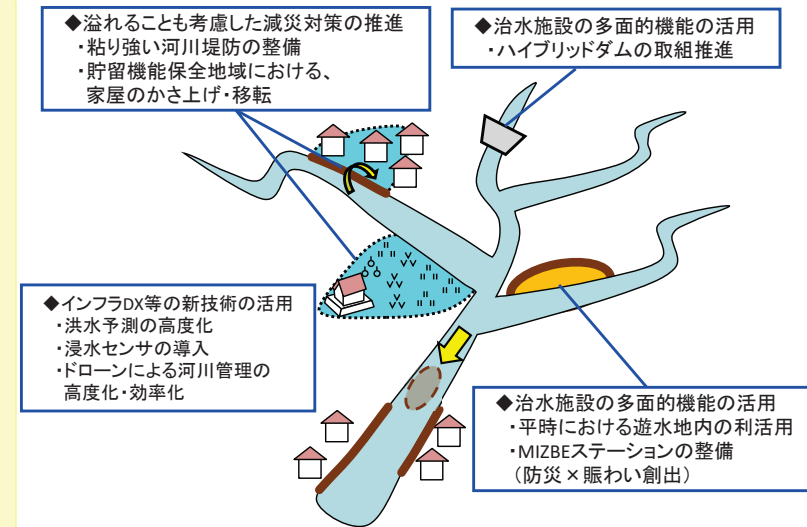
必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

必要な対応のイメージ



様々な手法の活用イメージ



降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】

流量

約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、
目標流量を1.2倍に引き上げる必要

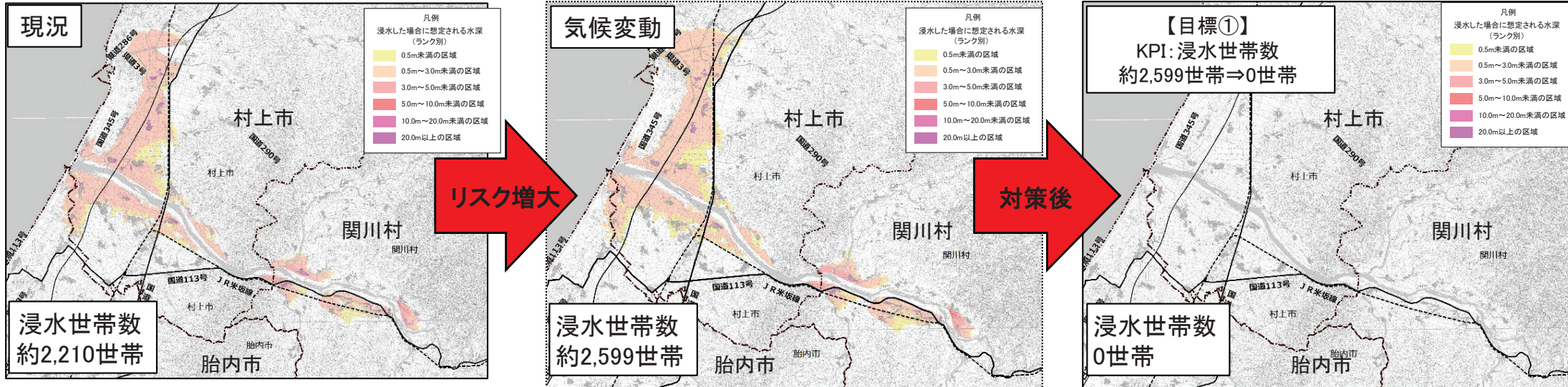
※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、
様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

気候変動に伴う水害リスクの増大

○河川整備計画の対象洪水(昭和42年羽越水害の洪水流量の約9割)に対し、2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水が発生した場合、荒川流域では浸水世帯数が約2,599世帯(現況の約1.2倍)になると想定され、事業の実施により、浸水被害が解消される。

■気候変動に伴う水害リスクの増大(大臣管理区間)



<現状>

※大臣管理区間から氾濫した場合の浸水想定

<気候変動考慮(1.1倍)>

※昭和42年羽越水害の洪水流量の約9割×1.1倍
※大臣管理区間から氾濫した場合の浸水想定

<対策後>

※大臣管理区間の河道整備及び洪水調節施設等の整備を実施した場合における、大臣管理区間から氾濫した場合の浸水想定

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

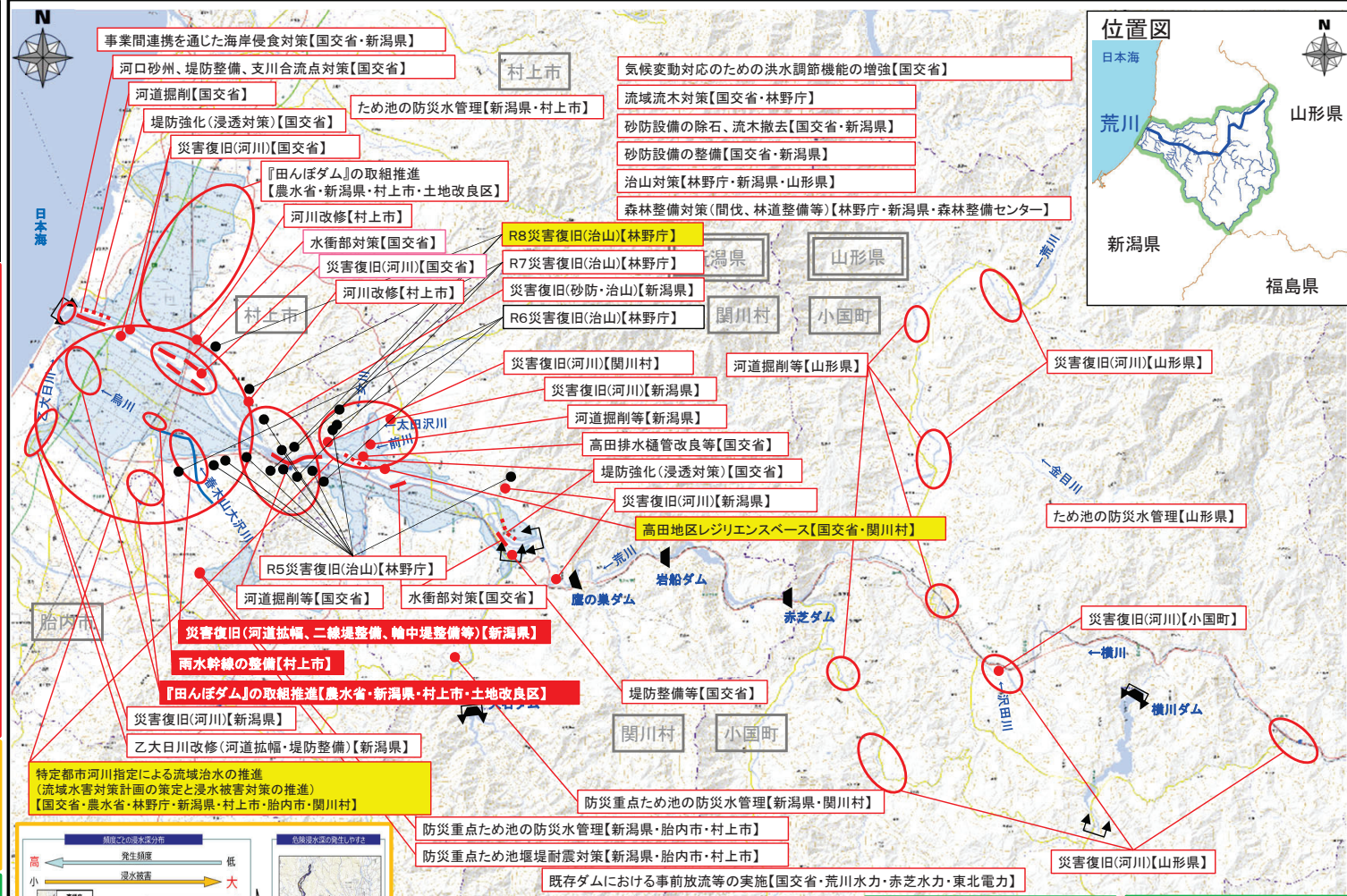
【目標①】気候変動による降雨量増加後の昭和42年羽越水害の洪水規模に対する安全の確保

荒川本川: 河口(0.0k)~丸山大橋下流付近(18.5k)

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	国交省	約2,599世帯の浸水被害を解消	気候変動対応のための洪水調節機能の増強	概ね30年
被害対象を減らす	—			
被害の軽減・早期復旧・復興	—			

荒川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～



○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したこと及び令和4年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、以下の取組を一層推進していくこととし、荒川等の国管理区間においては、気候変動(2℃上昇)下でも目標とする治水安全度を維持するため、河川整備計画の対象洪水(昭和42年羽越水害の洪水流量の約9割)に対し2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水を、安全に流下させることを目指す。

○ 気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法(以下「法」という。)の適用を行い、更なる治水対策を推進する。

○ 洪水を安全に流下させる治水対策の推進と合わせ、多自然川づくりを推進し荒川らしい豊かな自然環境を創出する。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・特定都市河川指定による流域治水の推進(流域水害対策計画の策定と浸水被害対策の推進)

【国交省・農水省・林野庁・新潟県・村上市・胎内市・関川村】

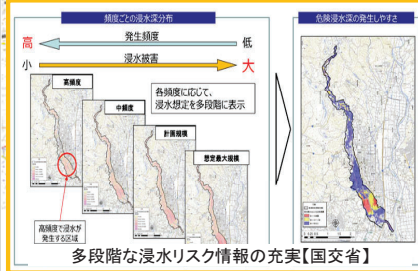
- ・災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】
- ・災害復旧(河川)【国交省・新潟県・山形県・関川村・小国町】
- ・災害復旧(砂防・治山)【林野庁・新潟県】
- ・河道掘削等【国交省・新潟県・山形県】
- ・堤防整備、堤防強化、河口砂州、支川合流点対策、水衝部対策等【国交省】
- ・乙大日川改修(河道拡幅・堤防整備)【新潟県】
- ・河川改修【村上市】
- ・既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築【国交省・利水ダム】
- ・砂防設備の整備、除石、流木撤去【国交省・新潟県】
- ・流域流水対策【国交省・林野庁】
- ・治山対策【林野庁・新潟県・山形県】
- ・森林整備対策(間伐、林道整備等)【林野庁・新潟県・森林整備センター】
- ・雨水幹線の整備【村上市】
- ・『田んぼダム』の取組推進【農水省・新潟県・村上市・土地改良区】
- ・ため池の防災水管理【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村】
- ・事業間連携を通じた海岸侵食対策【国交省・新潟県】
- ・気候変動対応のための洪水調節機能の増強【国交省】
- ・BIM/CIM適用による3次元モデルの積極的な活用【国交省】

● 被害対象を減少させるための対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】
- ・雨水管理総合計画の策定【村上市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制(災害危険区域等)【新潟県・村上市】
- ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成【小国町】

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップ作成周知、マイトタイムラインの普及促進、防災教育や防災知識の普及、要配慮者避難確保計画策定【国交省・新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町・新潟、山形地方気象台・利水ダム】
- ・中小河川における浸水想定区域図作成【山形県】
- ・排水計画検討等、林道整備の推進(災害時における代替路機能)【林野庁、山形県】
- ・災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供【気象台】
- ・流域タイムライン運用【国交省・新潟県・村上市・胎内市・関川村・気象台】
- ・河川監視カメラの設置【山形県】
- ・コミュニティタイムラインの策定【関川村】
- ・総合防災訓練の実施【村上市・関川村・小国町】
- ・水害リスク空白域の解消【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町】
- ・内水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成【村上市・小国町】
- ・防災アプリの開発・防災無線更新【村上市・胎内市】
- ・気象情報の充実、予測精度の向上【新潟、山形地方気象台】
- ・高田地区レジリエンスベース【国交省・関川村】

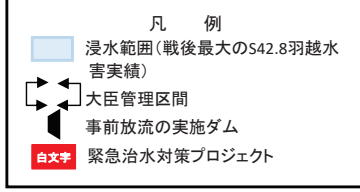


※ 本図の浸水範囲は、大臣管理区間における荒川本川の氾濫によって生じる範囲を示しており、支川等他区間の氾濫による浸水範囲は含まれていない。

※ 災害復旧箇所は、現時点の予定も含め、代表箇所を表示している。

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※ 流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した河川整備対策については、今後の河川整備計画変更の過程でより具体的な対策内容を検討する。



氾濫を防ぐ・減らす

- 気候変動を踏まえた治水計画への見直し
(2℃上昇下でも目標安全度維持)
< 具体の取組 >
 - 気候変動対応のための洪水調節機能の増強【国交省】
- 流域対策の目標を定め、
役割分担に基づく流域対策の推進
< 具体の取組 >
 - 特定都市河川指定による流域治水の推進(流域水害対策計画の策定と浸水被害対策の推進)【国交省・農水省・林野庁・新潟県・村上市・胎内市・関川村】
 - 災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】
 - 災害復旧(河川)
【国交省・新潟県・山形県・関川村・小国町】
 - 災害復旧(砂防・治山)【林野庁・新潟県】
 - 河道掘削等【国交省、新潟県、山形県】
 - 堤防整備、河口砂州、支川合流点対策、高田排水樋管改良等
【国交省】
 - 乙大日川改修(河道拡幅・堤防整備)【新潟県】
 - 河川改修【村上市】
 - 砂防設備の整備、除石、流木撤去【国交省・新潟県】
 - 流域流木対策【国交省・林野庁】
 - 治山対策【林野庁・新潟県・山形県】
 - 森林整備対策(間伐、林道整備等)
【林野庁・新潟県・森林整備センター】
 - 雨水幹線の整備【村上市】
 - 事業間連携を通じた海岸侵食対策【国交省・新潟県】
- 溢れることも考慮した減災対策の推進
< 具体の取組 >
 - 堤防強化(浸透対策、水衝部対策)【国交省】
- 既存ストックの徹底活用
< 具体の取組 >
 - 『田んぼダム』の取組推進
【農水省・新潟県・村上市・土地改良区】
 - ため池の防災水管理
【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村】
 - 既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
【国交省・利水ダム】
- インフラDX等における新技術の活用
< 具体の取組 >
 - BIM/CIM適用による3次元モデルの積極的な活用【国交省】

被害対象を減らす

- 流域対策の目標を定め、
役割分担に基づく流域対策の推進
< 具体の取組 >
 - 雨水管理総合計画の策定【村上市】
 - リスクが高い区域における土地利用規制
(災害危険区域等)【新潟県・村上市】
 - 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成【小国町】
- 溢れることも考慮した減災対策の推進
< 具体の取組 >
 - 多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】

被害の軽減・早期復旧・復興

- 流域対策の目標を定め、
役割分担に基づく流域対策の推進
< 具体の取組 >
 - 中小河川における浸水想定区域図作成【山形県】
 - 排水計画検討等、林道整備の推進
(災害時において代替路機能)【林野庁・山形県】
 - 災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供
【新潟・山形地方気象台】
 - 流域タイムラインの運用開始
【国交省・新潟県・村上市・胎内市・関川村・新潟地方気象台】
 - 河川監視カメラの設置【山形県】
 - コミュニティタイムラインの策定【関川村】
 - 総合防災訓練の実施【村上市・胎内市・関川村・小国町】
 - 水害リスク空白域の解消
【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町】
 - 内水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成
【村上市・小国町】
 - 防災アプリの開発・防災無線更新【村上市・胎内市】
 - 流域治水フォーラムの開催【新潟県】
 - 高田地区レジリエンスベース【国交省・関川村】
- 溢れることも考慮した減災対策の推進
< 具体の取組 >
 - ハザードマップ作成周知、マイタイムラインの普及促進、防災教育や防災知識の普及、要配慮者避難確保計画策定【国交省、新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町・新潟、山形地方気象台・利水ダム】
- インフラDX等における新技術の活用
< 具体の取組 >
 - 気象情報の充実、予測精度の向上
【新潟・山形地方気象台】

荒川水系流域治水プロジェクト2.0【グリーンインフラ】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●グリーンインフラの取組 『トミヨなど多様な生物が生息する、荒川らしい豊かな自然環境の創出』

- ▶ 荒川では、「たんぼ」(*)をはじめとする良好な自然環境を数多く有し、またH15～H17年には1級河川において水質日本一（指標BOD）となるなど、豊かな自然環境が「清流荒川」として親しまれている。（※湧水のあるワンドの地域呼称）
- ▶ 清流荒川を象徴するトミヨやカワラハハコ、ハクセキレイなどの荒川らしい生物が生息・生育できる環境を保全・再生するため、今後約10年間で、かつて数多く見られたたんぼや礫河原等の河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・たんぼの保全・再生・礫河原の再生【羽越河国】
- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
 - ・田んぼダムによる水鳥等の採餌場、生息環境創出【新潟県・村上市・荒川土改】
 - ・農業用ため池の水管理による自然環境の保全・復元【新潟県・村上市】
- 治水対策における多自然川づくり
 - ・たんぼの保全【羽越河国】
 - ・多様な生物の生息環境の保全・創出【羽越河国】
 - ・多自然川づくりの考え方に基づく災害復旧【山形県】
 - ・乙大目川改修における動植物の良好な生息・生育環境の保全【新潟県】
- 荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取組
 - ・小中学校における河川環境学習（水生生物調査等）【羽越河国】
 - ・地元NPOの協力による、たんぼのモニタリング、河川清掃【羽越河国】
 - ・町民参加による河川清掃【小国町】
 - ・地域団体等と連携し、子供たちの自然体験や学習の場として水辺空間を活用【関川村】
 - ・地域団体等と連携し、荒川やさざれ石等の自然環境を活かしたカヤック体験イベントの実施【関川村】
 - ・荒川における保育園児による鮭稚魚の放流、鮭の生態学習への活用【村上市】
- 大石ダムフラッシュ放流の試行
 - ・ダム下流河川に生息する、アユ、カジカの生息環境を保全するためフラッシュ放流の試行を継続【羽越河国】
- ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出
 - ・白い森おぐに湖（横川ダム）、おいしい湖（大石ダム）を活用した地域活性化および上下流の取組を推進【羽越河国】
 - ・おいしい湖を活用した地域活性化イベントの開催、民間事業者と連携したカヌー体験イベントの実施【関川村】
 - ・白い森おぐに湖及び荒川流路工（飯豊砂防）を活用した自然体験による地域活性化の取組推進【小国町】
- 魅力ある水辺空間の創出
 - ・神林水辺の楽校の施設更新【村上市】
 - ・荒川河川敷の畑への活用による高齢者等の生きがいつくり【関川村】
- 健全なる水循環系の確保
 - ・森林が有する多面的機能の発揮のための森林整備【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
 - ・保安林等における荒廃地の復旧整備等の治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】



【全域にかかる取組】
地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

